

平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

横浜市笹野台地域ケアプラザ

■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

(1) 地域の現状と課題について

笹野台地区は昭和30年頃から開発が始まった新興住宅地で、半世紀以上の歴史を有しています。戸建住宅が中心の住宅街で、集合住宅は比較的少ない地域です。笹野台地区は、連合自治会、地区社会福祉協議会などが中心となり、さまざまな活動が活発に行なわれていますが、地域を支えているボランティアなどの、担い手は高齢化してきています。昔からの近所付き合いがご逝去により途絶えてきていること、自治会未加入の世帯や、かがやきクラブ未加入者の増加により、近隣住民把握が難しく、交流の機会が減ってきています。階段や坂が多く起伏が激しい地域の為、外出が困難になっている方や、認知症により買い物ができなくなり、苦慮している方が多いことが課題です。地域を支える主要の方々の中での、地域課題に対する認識への差があり、現在共通理解をする会議開催を重ねています。支援者側と地域住民課題認識の重点施策について、優先取組についてのすり合わせを行いながら、課題対応を行いました。

笹野台地区の高齢化率は、29.8%と全国平均より高く、1人暮らしや高齢者世帯が多い地域となっています。

(2) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

1. 個別相談、ケアプラザの自主事業、地域ケア会議や地域会合、イベントへの参加など、様々な機会を通じて地域の社会資源や活動の情報収集をすると共に地域課題の把握に努めました。定例カンファレンスや緊急のケースは随時、行政地区担当と情報を共有し、同行訪問するなど、迅速、適切な支援に努めました。区役所子ども家庭支援課、旭区地域子育て支援拠点「ひなたぼっこ」と子育て支援として「公園遊び」の定期的な開催を引き続き行いました。担当エリア内の小学校・放課後キッズクラブ・保育園・地域子育てサロン関係者支援者と連携を図りました。区役所障害者支援担当や若者支援横浜西部ユースプラザと連携し、引きこもりの方の就労支援として、ケアプラザでのボランティア活動が行えるよう支援しました。なお、活動されていた方が、次のステップとして就労へ繋がるなど成果が表れてきました。

2. ケアプラザから離れた地区での、出張サロンや地域の方が集いやすい自治会館での介護予防講座の実施など、地域へ積極的に出向き、より多くの方に参加いただけるよう努めました。顔の見える関係作りのために、些細な相談ごとでも、ケアプラザ（地域包括支援センター）を活用いただけるよう地域の総合相談窓口として周知活動に努めました。また、毎月かがやきクラブ定例会へ広報紙・チラシを持参し、班回覧にて情報発信をしました。今年度は、出張サロン（2カ所：毎月1回開催）、出張講座13回/年（出張サロンで介護予防教室を含む）を行い、より身近な場所での活動を支援しました。

3. 地域の相談窓口としての周知を図るため、行政・自治会・民生委員・笹野台地区ささえあい連絡会と協同し「みまもりネットワーク」のパンフレットを作成し、笹野台地域住民へ全戸配布しました。

(3) 各事業の連携

1. 朝のミーティング、所内会議などで日常的に情報共有し、動きの見える連携に努めました。

職員会議においては、他部署の業務を知り、課題を共有するなど、協力体制の強化を図りました。

2. ケアプラザから離れている地域に出向き、出張サロンを定期開催しました。(地域活動交流、地域包括支援センター、生活支援共催) 地域情報・課題を共有し、ニーズの把握、課題解決に向け連携した事業展開に努めました。

3. 閉じこもり予防や認知症予防の必要な方への支援として、地域活動交流の自主事業へ繋げるなど連携した支援を行いました。また、自主事業や自主活動の参加者から気になる方、支援の必要とされている方を地域包括支援センターと情報共有を行い、必要な方への早期支援に努めました。

4. 個別支援をする中で、地域課題につながる事例を包括エリア地域ケア会議の中で検討し、地域全体で課題としてとらえ、事例検討への地域住民参加を促しました。

(4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

1. 人材育成を(「階層研修」と「専門研修」の二つの視点から)、人財部(人事・労務管理部門)を中心とした各種の階層別(新任者・中堅職員・指導的職員・管理職・統括経営職)研修と、介護保険サービスのカテゴリーに呼応する事業部門(通所介護事業部、訪問看護事業部など)主導で行なわれる専門、職種別研修の縦横の軸として実施しました。当ケアプラザは、部署ごとの年間計画に沿って研修を受講し、その後回覧にて情報共有し、職員会議にて適宜勉強会を開くことにより、資質の向上に努めました。人員体制:平成29年4月1日~平成29年4月30日の1か月主任ケアマネジャーが欠員でした。

平成30年1月~生活支援コーディネーターが欠員となっています。

2. 人材育成として、定期的な管理者との面談と年2回の人事考課によって職員の働きの公正・適正な評価を行いました。定期面談以外でも職員は誰でも希望に応じて管理者、所長等と面談をすることができ、働き方についての相談など課題解決が必要なときには、組織として対応を行いました。

3. 居宅介護支援、地域包括支援センター(予防介護支援)は、コンプライアンス、事故防止、苦情解決、個人情報保護、感染症対策、高齢者虐待防止等の項目を立て、地域活動交流、生活支援を含めた3部署で年間計画を立てて研修を実施しました。

4. 階層別研修、専門・職種別研修(介護技術や相談技術の向上等)を実施することで、さまざまな角度からの人材育成が可能になっています。なお、こうした研修は法人内で企画されるものだけに限らず、行政、横浜市社会福祉協議会等が主催する研修や講習会、研究会等も積極的に活用し、法人内の研修と組み合わせ、職員の知識の向上に努めていきました。

5. 防災特別避難所、インフルエンザ・ノロ感染症対応等については地域ケアプラザ全体で、研修を行いました。

(5) 地域福祉保健のネットワーク構築

1. 笹野台地区社会福祉協議会の常任理事会・評議員会・ささえあい連絡会へケアプラザ職員がメンバーとして参加するとともに、連合自治会等の地域行事・地区社会福祉協議会との共催事業など様々な場面で、地域の福祉活動支援団体、関係機関と情報共有を行い、地域課題に適切な対応ができるよう関係づくりに努めました。
2. 笹野台地区ささえあい連絡会の一員として(支援チームの一員)第3期地区別計画を推進しました。ささえあいネットワークの第3期地区別計画について、地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターが定例会議に出席し、情報の共有を行いました。又、年1回開催の「きらっとあさひ福祉大会」の冊子原稿、パネル展示原稿の作成協力を行いました。
3. 毎年恒例の笹ケア文化祭(趣味探訪展)を開催し、登録団体の発表会・作品の展示会を通じ、活動の周知と団体間の交流を深めました。また、毎年団体交流会を開催し、情報提供や情報共有を図りました。
4. 地域ケア会議を活用したネットワーク構築に努めました。今年度は、地域ケア会議、個別会議1回/3か月、包括エリア会議2回/年を実施しました。区と共同で作成した、旭区地域ケア会議のリーフレットを活用し、地域の方々へ広報を行いました。

(6) 区行政との協働

1. 地域福祉保健計画・地区別計画の推進・地域の顔の見える関係づくり・ジュニアボランティアの支援・認知症サポーター養成講座など、地域の課題を抽出し、区計画を意識した取組に努めました。また、地区担当及び各分野の担当と定例カンファレンスや連絡会の場で情報共有や情報交換を行いました。
2. 毎月の定例カンファレンスの場において、地域ケア会議の運用方法や介護保険法改正に向けた事業方針について話し合い、今後活発に事業展開できるように努めました。
3. 毎月の定例カンファレンスの場において、処遇困難対応時には、行政地区担当の職員より助言・指導を受けるよう努めました。
4. 区と旭区内地域ケアプラザが協働して作成した、ケアプラザがわかるリーフレット(ケアプラザってなーに?!)を活用し、地域に広く配布しました。
5. 元気作りステーション・みな元気あさひが継続できるように後方支援に努めました。
6. 行政・自治会・民生委員・笹野台地区ささえあい連絡会と協働し、「みまもりネットワーク」パンフレットを作成し、地域住民への全戸配布を行いました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

1. 事業目的を明確にし、利用ニーズや時勢を上手く捉え、趣向を凝らした事業を展開しました。地域住民が集える場、活動できる場、声が拾える場として実施し、地域のご意見を反映して、自主事業の開催日時の変更や講師のご要望にお応えしました。また、目的を意識し、課題解決となる幅広い事業の企画・開催に取り組みました。
2. 高齢者向け事業では、自宅から出掛けるきっかけとなる事業を企画・開催しました。笹野台地区社会福祉協議会と共催のサロン『お茶べり会』の内容に体験・参加型を取り入れ、多くの方に足を運んでいただけるよう運営に努めました。
3. 8月の着衣泳講習会も旭消防団と協働し、水難事故防止に向けて取り組みました。
4. 横浜市旭区食生活等改善推進員会と、『食育講座』を2回開催し、子供の頃からバランスの取れた好ましい食生活と豊かな心を学びました。
5. 保健活動推進員会共催事業では、地域健康推進を目的とした世代を問わず楽しめるリズム体操(ズンバゴールド)を開催しました。
6. ケアプラザ文化祭などの事業を活動団体発表・交流の場に活用し、利用者の方々がお互いに繋がる機会を提供しました。

7. 民生委員児童委員協議会と連携し、ジュニアボランティアが活動できる事業を開催しました。(キッズ day)。
8. 地域包括支援センターと地域活動交流が連携し、歴史散歩の事業などでの介護予防の普及啓発に取り組みました
9. 社会資源として自主活動へつなげられる事業について、活動が継続いただけるよう後方支援を行いました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

1. 福祉保健活動団体等が、地域の行事やケアプラザの行事(キッズ day・笹ケア文化祭・高齢者昼食会・サロン)で利用団体の成果の発表やボランティアとして参加できる機会を作りました。
2. 福祉保健活動団体等が、当ケアプラザ内の事業において会場設営、受付、片付け、お茶出し等、ボランティア活動ができるよう、ボランティア情報の提供、団体への声掛けと周知を行いました。
3. サークル活動団体へ、ボランティア情報チラシを配布し、ボランティア参加を促しました。
4. 登録団体交流会では、福祉避難所の説明や各団体自己紹介・情報交換で団体相互の連携の機会を創出しました。又、地域ケアプラザにおける福祉保健活動について理解をしていただき、福祉保健活動従事者が増えるように積極的に働きかけました。
5. 作業所にパンやお菓子販売の場を提供し、作業所と住民の交流を図ると共に、作業所活動支援を行いました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

1. 地区社会福祉協議会と協働し、若い世代の新たな担い手発掘に向けた取組(地域デビューガイダンス)を進めていきました。広報紙や地域の掲示板にボランティア募集のチラシを掲示し参加を促しました。
2. 随時ボランティア活動の意識づけを行い、地域や利用者のニーズに合ったボランティア育成に努めました。
3. 新規事業の企画も事業終了後、地域でボランティア活動に繋がる道筋を作りました。
4. 地域の方からの要望で職員が研修で認定を受け、よこはまシニアボランティアポイント登録研修会をケアプラザで開催しました。シニアボランティアポイント対象の自主事業の開催とボランティア活動の担い手の育成を行いました。
5. 小学生・中学生・高校生が地域の行事でボランティア活動ができるような働きかけをしました。また、Jr.ボランティアの活動に福祉用具の車椅子・高齢者疑似体験や特別養護老人ホーム施設見学とボランティア活動等、民生委員と協力し、啓発活動に努めました。
6. よこはま西部ユースプラザと引きこもり状態からの回復期にある若者の居場所、ボランティア活動や社会体験など、地域における継続支援を行いました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

1. 広報誌や掲示板を通じて地域の皆様へ情報を提供していきました。
2. 学校、保育園、放課後キッズクラブ、子育てサロンを訪問し、情報交換を行いました。小中学校の福祉体験の受け入れ等を積極的に行い、福祉情報を提供しました。また、地域に積極的に向き、地域住民・各機関の方々との関係づくりを行い、そのつながりを活かし、地域の老若男女、幅広い方々が福祉と触れあうきっかけづくりを進めました。
3. 笹野台地区の社会資源である笹野台地区連合自治会の会議・行事に参加するとともに、笹野台地区社会福祉協議会の常任理事として、毎月開催の常任理事会に出席し、

ニーズや分析を進め、エリア全体の課題の把握や情報提供を行い、具体的な課題解決に向けた取組に努めました。

4. 笹野台地区社会福祉協議会の評議員として評議員会に出席し、地域の状況、問題点、ご意見、ご要望など、情報を共有し、地域ケアプラザとしての情報発信を行いました。

5. 福祉保健活動団体（当ケアプラザ登録団体等）を、地域の方に知っていただけるようにサークル活動コーナーを設け、最新の情報になるよう管理を行いました。また、来館者の要望に応え、サークル一覧チラシを作成し、自由に持ち帰ることができるようにしました。

6. SNS や地区社協のホームページ(ささのだいニュース)にケアプラザの情報を掲載し内容の充実を図りました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

1. 自治会館単位のサロン2か所の後方支援として、地域包括支援センター、地域活動交流、生活支援コーディネーターが連携し、携わりました。だんらんは自主的な同好会となり定例開催。ささえ愛ふじみは、サロンとして月1回定例開催となり、平均17名に参加いただきました。また、新たにうぐいす会のサロンが立ち上がりました。

2. 元気づくりステーション、みな元気旭やサークル活動に参加し、ニーズの把握に努めました。

3. 地域の会合かがやきクラブの定例会、行事に出向き、関係性の構築に努めました。

4. 担当地域の社会資源を整理し、旭区役所と共同で地域の介護予防マップ更新を行いました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

1. 笹野台ケアプラザ自主事業、サークル活動、元気づくりステーション、みな元気旭の活動場所に出かけ、関係性の構築と情報発信を行いました。

2. 地域のニーズ把握を行うため、自治会サロンや、かがやきクラブでのアンケートをささえあい連絡会と共同で実施しました。

(3) 連携・協議の場

1. ささえあい連絡会の定例会に参加し、サロンの拡充担当の一員となり行動しました。

地域包括主催の地域ケア会議へ出席し、地域課題の把握と共有を行いました。地域課題を把握した上で、買い物困難への実態把握を目的にして、買い物困難者宅へ訪問、アンケートによる聞き取り調査を行いました。又、予防ケアマネジメントを実施している利用者から聞き取りで、地域で活動をしている移動販売車の業者を把握し、その販売品目などを把握しました。地域ケア会議の中で認知症の理解を推進する必要性の課題認識に至り、地域で活動をしている移動販売車や近隣商業施設への働きかけを行いました。なお、その結果をささえあい会議の中で地域の方と情報共有しました。

2. 笹野台地区運営協議会にて、地域の方へ協議体の説明を行いました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

1. 地域のインフォーマルサービスについて積極的に情報を集め、必要に応じてご利用者が活用できるように情報提供を行いました。
2. 関係する医療機関や民生委員、地域で活動するボランティア団体と連携して、住み慣れた地域でご利用者・ご家族の望む生活が継続できるようにニーズの把握を行いました。
3. 区役所、社会福祉協議会などが開催する外部研修へ積極的に参加し、自己研鑽に励みました。
4. 誰もが気軽に集える場の提供として、子ども食堂（はぐ）の後方支援を行いました。（平成29年4月から11月まで述べ200人以上来場）

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

1. 自治会連合会、笹野台地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会等の関係機関と、個別ケースでの対応やケアプラザ自主事業、地域会合イベント等を通して顔の見える関係づくりを行い、その結果、地域の中で心配と思われる方の情報提供をいただき、電話対応や同行訪問等にて随時支援を行いました。
2. 地域包括支援センター内で把握した支援が必要と思われる方の対応は、民生委員等地域の関係団体と情報共有し、連携した支援に努めました。また民生委員の方々を担当する支援の必要な方の情報も共有し、連携してアプローチすることで、サービスにつながった事例が4件ありました。
3. エリア内に事務所を構える司法書士を講師とした講座開催により、司法書士とのつながりができ、司法書士からエリア内ご利用者について相談をいただけるようになりました。

② 実態把握

1. 個別ケースでの対応や地域ケア会議を通じ、地域の現状把握に努めました。総合相談の傾向を分析し、運営協議会や地域ケア会議を通じて関係機関と課題などの情報共有を行うことで、包括支援センターがどのような支援を行っているかを知っていただき、民生委員、自治会長をはじめとした地域住民から、気になる近隣住民の様子などを知らせていただきやすい環境づくりに努めました。
2. 相談いただいた内容については、迅速に対応し、対応内容を情報提供者に報告することで、地域の実態に即した情報がタイミングよく入ってくる良い循環作りを目指しました。

③ 総合相談支援

1. 高齢者に限らず、知的障害、精神障害をお持ちの方、家族への支援に早期介入、対応し、行政や必要な機関との連携につなげる支援を行い、地域での孤立の防止、課題の重層化予防に努めました。
2. 訪問相談：当ケアプラザへ来所が困難な方に対しては自宅や入院機関等に訪問し、状況把握を行い、早期支援に努めました。
3. 連携した支援：区との定例カンファレンス等を通じ、情報を共有すると共に連携した支援に努めました。サービスに繋がらない方や連携した支援の必要な方など、訪問や電話などで安否確認・状況把握し、課題解決に向け行政、関係機関と迅速に連携

し支援を行いました。

4. 介護者支援としては「介護者のつどい」を奇数月第4水曜日に開催。総合相談やケアマネからの相談から、参加をお勧めしたい方を把握し、直接お誘いして必要な方に情報が届くよう対応しました。

5. 記録と情報共有：コンピュータシステムを活用して相談内容等をデータ入力後プリントアウトし、3職種で回覧しています。データは個人名で蓄積されるため、3職種だれもが経過を確認しながら状況把握できるようになっており、継続した支援を迅速に行いました。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

1. 成年後見制度の活用促進については、総合相談やケアマネジャーからの相談において、制度の活用提案や申立支援を積極的に行いました。個別対応においては、認知症や発達障害、知的障害の方へ成年後見制度活用を積極的に提案し、パンフレット等を用いた説明、申立準備の支援を行いました。なお、後見類型だけでなく、保佐補助類型の対象レベルの方へも活用提案を実施しました。また、基幹相談センターなど障害の支援機関とも連携して支援を行いました。

2. 旭区版エンディングノート活用講座を実施し、旭区社会福祉協議会職員に成年後見制度について講義をいただき、制度内容の理解普及に努めました。

3. 地域サロン2箇所にてNPO法人による消費者被害防止セミナーを実施し、包括支援センターが消費者被害防止の地域の窓口であることを普及しました。

4. 司法書士による無料相談会を実施し、地域住民が身近に相談ができる機会を設けました。

② 高齢者虐待への対応

1. 総合相談、ケアマネジャーやサービス事業所・入所施設からの相談、区役所からの情報提供により高齢者虐待または虐待の疑いを把握しました。

2. 高齢者虐待ケース相談については、地域包括が初動に関わり、疑いの場合も含め迅速な訪問・状況把握に努めました。随時、区福祉保健センターへ連絡相談し、連携協働した対応を行いました。

3. 緊急性の判断を行ったうえで、毎月の定例カンファレンスの場等にて、区福祉保健センターより支援の方向性を確認、共有し、的確な役割分担に基づき対応を行いました。

③ 認知症

1. 区福祉保健センター及び関係機関と協働し、区徘徊SOSネットワークの普及啓発活動を継続しました。

2. 地域サロン3か所で、認知症サポーター養成講座を開催し、アルツハイマー月間に認知症を題材とした映画上映会を実施する等、認知症の理解・普及啓発に努めました。

3. 認知症対応の相談をきっかけに、近隣店舗や郵便局への認知症対応の窓口として包括支援センターとの連携提案や認知症を学ぶ講座の提案を実施しました。

4. 認知症を介護する家族介護者への支援として、「介護者のつどい」で認知症を正しく理解するためのミニ講座を実施しました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

1. 区地区担当との定例カンファレンスや、地域の方からの聞き取り、地域ケア会議などで知り得た情報から、地域の歴史、風土、資源の在り方や、連携の状況の把握に努めました。
高齢者住宅の相談員や担当地区にある交番などと随時情報共有し、実態把握や地域ニーズ対応に努めました。特に地域ケア会議では、各地区の様子を自治会、笹野台地区社会福祉協議会、民生委員、担当地区に居住する高齢者のケアマネジメントをしているケアマネジャー等の意見から、地域課題の把握に努めました。
2. 圏域内外の関連する介護保険事業所を訪問し、地域ケアプラザの活動について情報発信を行いました。
3. 介護保険事業の開催する運営推進会議をきっかけに、1) 認知症グループホームのみんなの家において、地域向けのサロンを事業化し、認知症の普及啓発のための後方支援をしました。2) 小規模多機能施設のアルメリアにおいて、既存のサロンから生まれた企画で、生活の困りごとの出張相談の後方支援を来年度に行います。3) 地域の福祉計画の取組として、障がいの理解を推進するための講座を、くるみ学園と連携し、開催の話し合いを行いました。
4. 笹野台地区社会福祉協議会、民生委員児童委員などの地域からの相談に対応しました。担当しているケアマネジャーが存在しているケースに関しては本人・家族の同意を得て連携支援を行いました。(2件)

② 医療・介護の連携推進支援

1. 圏域の医療機関・薬局を月1回訪問し、地域ケアプラザの活動について情報発信しました。地域ケアプラザ等PR用クリアファイルを医療機関に配架後、医師からの問い合わせが来るなど、関係が構築され、平成30年から近隣薬剤師が笹野台地域ケアプラザの運営協議会に委員として参加することに、近隣クリニックの内科医が地域ケア会議に参加することとなりました。
2. 医療機関の相談室からの相談など、退院から在宅生活へのスムーズな移行が出来るようケアマネジャー等関係各所への迅速な対応支援に努めました。

③ ケアマネジャー支援

1. 主任ケアマネ交流会を旭区地域包括支援センター主任ケアマネジャー分科会で、平成29年6月に開催しました。
2. 新入就労予定ケアマネジャーに対する研修を旭区地域包括支援センター主任ケアマネジャー分科会で平成29年9月、平成30年2月の計2回開催しました。又、新任ケアマネ研修の参加者に対して当ケアプラザでケアマネジメントに対する実習及び個別研修を実施しました。(1件)
3. 旭区内を4分割しての地区別の3ケアプラザ合同開催のケアマネジャー向け研修を川井地域ケアプラザ・若葉台地域ケアプラザと協働で年4回開催しました。介護サービスの連携支援、精神障がいの理解や、機関の紹介、精神科領域に関するモデルの活用などの内容で実施しました。
4. ケアマネジャーからの相談は3月末時点で53件あり、区福祉保健センター職員と連携して対応しました。
5. 個別のケースでは、ケアマネジメントから成年後見制度の申し立て支援での連携をしたケース、経済的搾取が疑われるケース、多問題家族ケースへのケアマネジャーとの同行訪問や、生活衛生などの環境整備の必要あるケースへの清掃などの支援を実施しました。
6. 個別ケースの早期危機介入後、関係機関での定期的なカンファレンスを実施し、制

度では補いきれないニーズへの対応を行いました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

1. 個別レベル地域ケア会議は、合計年4回開催しました。1、2回目は買い物困難に絡む事例、3回目は住民が主体となり地域支援で在宅生活が継続できている障がいをかかえる高齢者の事例（住民の参加あり）を実施しました。

包括レベル地域ケア会議は9月、平成30年2月計2回開催しました。その内、1回目は地域包括支援センターの地区担当エリア内に担当がいるケアマネジャーと民生委員児童委員との連携を目的に開催しました。2回目は地域課題の支援者側と地域の課題理解のずれ、介護保険以外で地域で行われている支援についての話し合いを行いました。

2. 笹野台地域ケアプラザ主催のケアマネサロンにおいて、事例検討会3回（虐待を認定された事例で1回、住民が主体となり地域支援で在宅生活が継続できている障がいをかかえる高齢者の事例で2回）と、精神科単科の病院との多職種連携を目的にした研修を3回開催しました。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

1. 介護保険代行申請時にケアマネジャーが必要と思われる時は早期から連携し、また要支援者に主体性と意欲がもてるケアプラン作成を目指し、健康状態の維持・改善、介護予防を図ると共に、出来るだけ自立度の高い生活ができるように支援しました。

2. 委託する場合は担当ケアマネジャーと連携を取り、担当者会議に出席し、ケアプランへの助言を行いました。

3. 区役所・居宅事業所と連携を取りながら、必要なサービスを迅速に提供できるように努めました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

1. 地域において、高齢者が健康を維持し、改善可能な場合は適切な支援を受けて改善し、住み慣れた地域で暮らし、その生活の質を維持・向上させるため、高齢者一人一人が自分の健康増進や介護予防についての意識を持てるよう、情報の提供を行いました。

2. 高齢者が要介護状態になることをできる限り防ぎ、高齢者自身が地域における自立した日常生活を送れるよう「元気に介護予防」と題してコグニサイズ、GoGo健康第1弾（ロコモ予防・栄養改善・口腔機能向上）、ハマトレ体操、理学療法士の先生による体力測定、GoGo健康第2弾（ロコモ予防・栄養改善・口腔機能向上）を、介護予防の知識と技術が学べるよう開催し、介護予防普及啓発を行いました。

3. ケアプラザから遠いところには「認知症予防と対応のコツ」や「おいしく食べて健康寿命を延ばそう」と言う出前講座を開催し、高齢者が地域で役割や生きがいを持って生活ができるよう、情報の発信を継続しました。

4. 元気づくりステーションの「ノルディックウォーキング」や「スクエアステップ」の会員も徐々に増えて順調に介護予防活動が行えており、継続維持の為後方支援を行

いました。

5. みな元気 旭!ステーションのオレンジ会・さくら会・笹野台昼食会における地域の方の交流では、月に1~2回の開催で順調に介護予防活動が行えており、継続維持の為後方支援を行いました。

6. 身近な疾患について、正しい医療知識を持つことや理解を深めて健康管理に役立てていただくために、横浜旭中央総合病院と共催して市民公開講座(高血圧・急性心筋梗塞・脂質異常症)を開催しました。

7. 第3月曜クラブ(笹野台地区社会福祉協議会と共催事業)では、地域の方の閉じこもり予防を目的として「初笑い!笹野台寄席劇場」を開催しました。

5 その他

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

7 施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

1. 指定管理者として、利用者が施設を快適・安全に利用していただくと共に、施設や設備の価値をできるかぎり維持できるよう、計画的かつ誠実に管理を行いました。運営法人として、5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）1U（美しい）の取組を推進し、職員一人ひとりが施設管理への意識を持つと共に、利用者の視点に立った設備の安全、快適な環境、性能性及び快適性に配慮しながら、きめ細かいメンテナンス対策を進めました。
2. 施設（建築物、建築設備及び建築物の付帯設備）の管理については、施設の機能と耐久性を長期にわたって確保するために、「横浜市公共建築物（市民利用施設等）の施設評価及び保全に関する運用指針」（平成22年3月）、「維持保全の手引」（平成28年3月）、「施設点検手引き（簡易点検マニュアル・平成21年10月改訂）」等に基づいて、清掃及び点検、運転・保守を行い、施設の状態を正しく把握するとともに、適切な維持管理保全を行いました。
3. 建物の管理については、日常点検として巡視点検を行い、定期点検については、専門業者に委託して実施しました。点検結果等については、報告書等を作成しました。設備管理は、設備、機器自体の保全とともに、適正運転がなされることが重要であり、そのため、専門業者に委託し、各種点検・検査や測定・記録をしました。
4. 施設・設備、機器の修繕については、区役所に報告するとともに、適切に対応しました。

(2) 効率的な運営への取組について

1. ケアプラザの労務・経理等の事務処理に関しては法人本部と役割分担し、効率化を図りました。委託や備品購入に当たっては、法人割引等を活用し、経費の削減に努めました。
2. 朝礼、各会議等で、職員一人ひとりのコスト意識の高揚を図りました。特に、電力の使用については、消灯、無駄な機器などの運転をしないこと等を徹底していきました。毎日館内温度湿度を計測、朝礼で周知し、職員の意識づけを行いました。
3. 不要なものは購入しない、物は大切に使い、リデュース、リユース、リサイクル(3R)等を推進しました。
4. 地域ケアプラザ4部門の連携と情報等の共有を図ると共に、職員会議等で効率的な取組について検討し、できるところから実施しました。
5. 法人内所長会等では知恵を出し合うなど、効率的な運営の一助としました。

(3) 苦情受付体制について

1. ご利用者及び地域住民の方から、業務遂行上の苦情があった場合、内容は市役所・区役所に書面をもって報告するとともに、真摯な態度で受け止め、誠意をもって対応する姿勢を、職員一人ひとりがもてるよう研修しました。
2. 苦情対応の総括責任者を所長とし、各部門の管理者を、苦情受付・解決責任者として、館内に掲示するとともに心のこもった対応と速やかな解決に努めました。苦情等の内容は記録として残し、原因追求を図ることで、今後の苦情予防となるよう会議にて分析し、今後の対策を検討し対応しました。
3. 地域ケアプラザの1階及び2階のフロアに各1箇所ご意見箱を設置し、自由に記入していただくようにしました。また、ご意見を1か月掲示し所長がご意見に対して返信する体制としました。
4. 運営法人として設置している、弁護士等を含む第三者委員会において、重要課題については連絡、相談し、適切な対応・解決に結びつけられるようにしました。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

1. 火災・事故・地震・台風などの災害発生時には、結果回避義務（発生事の対応）に従い、すばやく初期対応を行い、マニュアルに基づき、全職員が利用者の安全確保を図れるようにしました。
2. 貸館の利用については、災害時の避難誘導の手順の確認、利用者へ火器使用の際の注意喚起、爆発物、危険物の持ち込み防止、使用後の清掃、電気・ガスの消し忘れ等の点検、チェックリストを利用した日常の巡視点検を行い、その後、職員による再チェックを行い、防災対策に取り組みました。
3. 地域の防災訓練、防災講演会、その他地域行事に積極的に参加し、日頃から「顔の見える関係づくり」に努め有事に備えました。
4. 災害時福祉避難所となっているので、その役割を認識するとともに備蓄物資を適正に管理しました。福祉避難所開設を想定した訓練や研修も継続的に行いました。
5. 防犯対策は、鍵の管理責任者は所長とし、開閉前後には点検表により、全館点検、戸締り等を徹底、夜間等は警備会社（機械警備）と連携し、事故防止を図りました。また、警備会社の緊急通報システムを取り入れた緊急ボタンの設置、全職員の緊急時対応研修を行いました。

(5) 事故防止への取組について

1. 事故防止については、法人統一の事故防止マニュアルがあり、対応フロー、連絡体制、報告判断基準も明示しています。また、日常的に正確な動作を行うことを徹底すると共に、なすべき動作の欠落がないよう相互チェックを行う等、非常事態時に対応できる研修等を行いました。
2. 各部署の会議等で、事故防止、感染症対策等の取組を行い、発生した事故を検証し、事故の減少に努めました。
3. サービス提供時に発生したヒヤリハットについては、職員会議等で検討会を開催し、事故防止に関する重要な情報として活用しました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

1. 個人情報の保護については、「個人情報の保護に関する法律」等の法令、厚生労働省のガイドライン、横浜市の「個人情報保護条例」を遵守しました。また、運営法人における「個人情報保護に関する規程」に従って、利用者の権利・利益を保護するために、個人情報の適切な取扱いに関し、必要な事項を「個人情報保護に関するマニュアル」に定め、職員に対し研修を実施しました。
「個人情報保護に関するマニュアル」概要
 - ①「個人情報保護チェックリスト」を用いて、職員は年1回以上、セルフチェックを行う。
 - ②個人情報を業務上必要な関係者以外には伝えない。
 - ③個人情報を得るときは使用目的を明確に伝え、了解を得る。
 - ④個人情報は業務上必要性がない者が閲覧等出来ないよう厳重に保管管理する（夜間等、不在時施錠、机上放置不可）。
 - ⑤情報の伝達などに当たっては複数回のチェックを行ない、個人情報の漏れやFAXの誤送信等がないように留意する。
 - ⑥不要の持ち出しを禁ず。
 - ⑦やむを得ず個人情報をFAX等する場合は、個人が特定できないよう、マスキング等の処置をする。
2. 職員研修等
 - ①職員を採用した時には「個人情報の保護に関する誓約書」を区に提出しました。
 - ②採用時研修において、個人情報の保護について、必須科目として習得させました。配属後は、年1回以上職場研修を行いました。

③他事業所等の個人情報漏洩事例については、職員会議(欠席者には事例回覧)等で周知すると共に、注意を喚起しました。

(7) 情報公開への取組について

1. 横浜市の指定管理料等によって運営されている地域ケアプラザの事業は、広く住民に情報が開示されることを当然と受け止め、「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」に準じて、適正な対応に努めました。

地域ケアプラザで発行する、広報誌(毎月発行)等において、運営状況等を公開しました。

2. 法人のホームページ等で、地域ケアプラザの事業の紹介などを行いました。

事業計画書、予算書等をカウンターに備え付け、閲覧に供しました。

情報ラウンジコーナーに事業計画書、予算書等を備え付け、閲覧に供しました。

(8) 人権啓発への取組について

1. 館内に人権啓発ポスターを掲示し、活動を周知しました。

2. 第3期旭区地域保健福祉計画の地区別計画への連携として、地域の方々と「障がいへの理解」の定期的な話し合いの場を持ちました。(平成30年に笹野台連合自治会と勉強会を開催予定。)

3. 地域のサロンで地域包括支援センターとサロンの共催で認知症サポーター養成講座を開催し、認知症の普及啓発を行いました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

1. 横浜市は、環境方針において、理念及び基本方針が出されています。公の施設である地域ケアプラザも、これに基づき取り組みました。

横浜市のごみゼロ「ヨコハマ3R夢プラン」の理解と実践

①リデュース(Reduce)

ごみそのものを減らします。出来るだけ物は購入しない。特に、OA機器の普及に伴ってコピー用紙などが増える傾向がありますので、購入量をチェックするなど、紙の使用量の削減を図りました。

貸館の利用者等の部屋利用に当たっては、ごみの発生抑制をお願いしました。(例:使い捨ての割り箸や容器は使わない、館の箸や容器を使う。)

②リユース(Reuse)

再利用します。購入する場合繰り返し使えるもの、不要紙の裏紙の利用等、小さなことでも徹底した取組によって、職員にゴミの減量化を意識づけました。

③リサイクル(Recycle)

物を最後に廃棄する場合、全職員に、手順書に基づいた分別の徹底を図りました。

2. 電気・ガス等エネルギーの使用の削減

①節電対策として、不要な電灯は消灯、空調設備の運転は冷暖房の設定温度を夏季28度、冬季20度を目安に設定しての温度管理を行いました。

②服装等は、クールビズ、ウォームビズで対応しました。

③窓開けやサーキュレータ、空調ファン、ブラインド使用により冷暖房の効率化を図りました。

3. 建物内外の整備

①5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)1U(美しい)運動を推進し、来訪者が気持ちよく活動できるように取り組みました。

②樹木や植栽の手入れ及び雑草刈等の環境整備を随時行いました。

③毎日職員による清掃を心がけ、館内がきれいに保たれるよう清掃を行いました。

【介護保険事業】

●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

- ・ 保健師 1名
 - ・ 主任介護支援専門員 1名
 - ・ 社会福祉士 1名
- 平成29年4月1日～平成29年4月30日 主任ケアマネジャー欠員

《目標に対する成果等》

- ・ ご利用者の選択を第一として関係事業者等との連携を図りながら、介護予防支援事業を推進しました。
- ・ 介護保険法等関係法令の遵守目標に対して介護事故等なく健全運営を行いました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 予定なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域の高齢者ニーズ発掘を目的に、自治会館への出前講座を行ったり、民生委員児童委員協議会委員、自治会役員、老人クラブ役員等と連携しながら戸別訪問し、地域ケアプラザ作成リーフレットや、行政機関からの情報紙面を用いての制度の啓発に努めました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
121	127	125	124	129	132
10月	11月	12月	1月	2月	3月
129	132	137	134	132	131

●居宅介護支援事業

《職員体制》

- ・管理者 1 名常勤
- ・介護支援専門員 5 名常勤（管理者含む）

《目標に対する成果等》

①居宅介護支援事業

- ・地域と連携して、新規依頼の相談を積極的に行いました。
- ・利用者の心身の状況をふまえ、利用者や家族の意向に沿ったケアプランの作成に努めました。

②介護予防支援事業

- ・地域包括支援センターと連携し、利用者の状況をふまえ、利用者や家族の意向に沿った適切なケアプランの作成に努めました。

③認定調査

- ・自治体の委託により、受託を行いました。（年間 165 件）

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- ・今年度の実績はありませんでした。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ご利用者の立場に立って本当に必要なサービスを提供いたします。
- ・人間的なあたたかさを大切にしています。
- ・自分らしく生活できることを大切にしています。

《利用者実績》

【単位：人】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
151	154	155	150	148	150
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
153	155	150	151	156	154

● 通所介護・認知症対応型通所介護（対象外）

《提供するサービス内容》

-
-
-

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分

（要介護1）	円
（要介護2）	円
（要介護3）	円
（要介護4）	円
（要介護5）	円
- 食費負担 円

-
-

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 日

《提供時間》 : ~ : (半角で入力 例 9:00~15:00)

《職員体制》

《目標に対する成果等》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10月	11月	12月	1月	2月	3月

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護（対象外）

《提供するサービス内容》

-
-
-

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 （事業対象者） 円
 （要支援1） 円
 （要支援2） 円
- 食費負担 円

-
-

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 日

《提供時間》 : ~ : （半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

《目標に対する成果等》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10月	11月	12月	1月	2月	3月

平成29年度「横浜市笹野台地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	17,246,804	△ 459,495	16,787,309	16,787,309	0	横浜市より
利用料金収入					0	
指定管理料充当 事業	0		0	527,390	△ 527,390	
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	67,670	△ 67,670	
印刷代	0		0	57,620	△ 57,620	
自動販売機手数料	0		0	9,600	△ 9,600	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当分)	0		0	450	△ 450	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	0		0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	181,113		181,113	181,113	0	
収入合計	17,427,917	△ 459,495	16,968,422	17,563,482	△ 595,060	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,052,000	0	11,052,000	10,686,983	365,017	
本俸	8,400,000		8,400,000	8,446,217	△ 46,217	
社会保険料	870,000		870,000	896,214	△ 26,214	
手当計	1,702,700		1,702,700	1,260,599	442,101	
健康診断費	4,300		4,300	4,651	△ 351	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	75,000		75,000	79,302	△ 4,302	
その他	0		0	0	0	
事務費	1,141,855	0	1,141,855	1,651,320	△ 509,465	
旅費	25,000		25,000	30,666	△ 5,666	交通費
消耗品費	160,000		160,000	268,999	△ 108,999	事務用品・清掃用品他
会議滞在費	0		0	5,333	△ 5,333	
印刷製本費	322,000		322,000	312,729	9,271	カウンター料金
通信費	500,000		500,000	583,015	△ 83,015	電話料金・携帯電話料金・郵送料
使用料及び賃借料	0	0	0	9,600	△ 9,600	
横浜市への支払分	0		0	9,600	△ 9,600	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	154,001	△ 154,001	
図書購入費	0		0	38,268	△ 38,268	
施設賠償責任保険	11,240		11,240	16,109	△ 4,869	
職員等研修費	10,000		10,000	2,000	8,000	
振込手数料	1,000		1,000	27	973	
リース料	52,000		52,000	52,371	△ 371	PC・マシントラック料
手数料	1,000		1,000	0	1,000	
地域協力費	6,000		6,000	15,000	△ 9,000	箕岡交換会会費
その他	53,615		53,615	163,202	△ 109,587	事業用ゴミ袋・収入印紙・電柱広告料・ビラ・請件
事業費	843,164	0	843,164	901,993	△ 58,829	
運営協議会経費	42,000		42,000	13,742	28,258	予算・指定額
指定管理料充当 事業	801,164		801,164	888,251	△ 87,087	
管理費	3,506,738	0	3,506,738	3,062,370	444,368	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算・指定額
光熱水費	1,352,219	0	1,352,219	1,053,063	299,156	
電気料金	737,839		737,839	541,648	196,191	
ガス料金	448,779		448,779	378,779	70,000	
水道料金	165,601		165,601	132,636	32,965	
清掃費	642,460		642,460	642,460	0	
修繕費	474,000	0	474,000	14,505	459,495	予算・指定額
機械整備費	97,265		97,265	101,585	△ 4,320	
設備保全費	1,132,503	0	1,132,503	1,132,503	0	
空調衛生設備保守	420,933		420,933	420,933	0	
消防設備保守	85,320		85,320	85,320	0	
電気設備保守	440,252		440,252	440,252	0	
害虫駆除清掃保守	32,422		32,422	32,422	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	153,576		153,576	153,576	0	
共益費	0		0	0	0	
その他	△ 191,709		△ 191,709	118,254	△ 309,963	太陽光発電控除
公租公課	884,160	0	884,160	854,958	29,202	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	884,160		884,160	854,958	29,202	
印紙税			0	0	0	この列は入力しない
その他()			0	0	0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	この列は入力しない
当該施設分			0	0	0	この列は入力しない
二一ス対応費			0	0	0	この列は入力しない
支出合計	17,427,917	0	17,427,917	17,157,624	270,293	
差引	0	△ 459,495	△ 459,495	405,858	△ 865,353	

自主事業費収入	801,164		801,164	527,390	273,774	予算・指定管理料に含む
自主事業費支出	801,164		801,164	888,251	△ 87,087	
自主事業収支	0	0	0	△ 360,861	360,861	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	9,600	△ 9,600	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	9,600	△ 9,600	使用料(横浜市への支払分)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

**平成29年度「横浜市笹野台地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(特別会計)<包括・介護予防・生活支援体制整備>**

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	22,389,000	△ 227,145	22,161,855	22,161,855	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	△ 3,511,809	2,277,191	2,277,191	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	0	0	
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	32,600	△ 32,600	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	9,600	△ 9,600	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充当分)	0		0	23,000	△ 23,000	
その他(提案時控除 法人負担分)	700,171		700,171	700,171	0	
収入合計	29,029,171	△ 3,738,954	25,290,217	25,322,817	△ 32,600	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	25,765,000	0	25,765,000	19,229,345	6,535,655	
本俸	13,948,800		13,948,800	12,032,586	1,916,214	
社会保険料	3,472,000		3,472,000	2,657,880	814,120	
手当計	7,902,400		7,902,400	4,216,611	3,685,789	
健康診断費	3,500		3,500	8,578	△ 5,078	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	393,600		393,600	313,690	79,910	
その他	44,700		44,700	0	44,700	
事務費	1,134,000	0	1,134,000	1,738,451	△ 604,451	
旅費	100,000		100,000	61,481	38,519	交通費・タクシー代
消耗品費	250,000		250,000	162,442	87,558	事務用品・清掃用品他
会議購入費	10,000		10,000	5,354	4,646	
印刷製本費	90,000		90,000	83,130	6,870	カウンター料金
通信費	300,000		300,000	177,518	122,482	電話料金・携帯電話料金・郵送料
使用料及び賃借料	0	0	0	9,600	△ 9,600	
横浜市への支払分	0		0	9,600	△ 9,600	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	50,000		50,000	47,628	2,372	
図書購入費	10,000		10,000	0	10,000	
施設賠償責任保険	3,000		3,000	4,282	△ 1,282	
職員等研修費	70,000		70,000	0	70,000	
振込手数料	1,000		1,000	27	973	
リース料	14,000		14,000	8,941	5,059	PC・マシンの料
手数料	0		0	866,592	△ 866,592	
地域協力費	2,000		2,000	15,000	△ 13,000	費詞交換会会費
その他	234,000		234,000	296,456	△ 62,456	事業用ゴミ袋・自動車保険・電柱広告料・印紙
事業費	1,198,000	0	1,198,000	772,097	425,903	
協力医	630,000		630,000	525,000	105,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	108,000		108,000	50,780	57,220	
指定管理料充当自主事業(介護予防)	151,000		151,000	151,046	△ 46	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	45,271	263,729	予算:指定額
管理費	932,171	0	932,171	817,215	114,956	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	348,138	0	348,138	279,928	68,210	
電気料金	193,217		193,217	143,982	49,235	
ガス料金	114,746		114,746	100,688	14,058	
水道料金	40,175		40,175	35,258	4,917	
清掃費	170,781		170,781	170,780	1	
修繕費	126,000		126,000	3,855	122,145	予算:指定額
機械備品費	28,247		28,247	30,175	△ 1,928	
設備保全費	259,005	0	259,005	301,043	△ 42,038	
空調衛生設備保守	69,854		69,854	111,893	△ 42,039	
消防設備保守	22,680		22,680	22,680	0	
電気設備保守	117,029		117,029	117,028	1	
害虫駆除清掃保守	8,618		8,618	8,618	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	40,824		40,824	40,824	0	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	31,434	△ 31,434	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税	0		0		0	
その他()			0		0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ス対応費			0		0	
支出合計	29,029,171	0	29,029,171	22,557,108	6,472,063	
差引	0	△ 3,738,954	△ 3,738,954	2,765,709	△ 6,504,663	

自主事業収入	568,000			0		予算:指定管理料に含む
自主事業費支出	568,000			247,097		
自主事業収支	0			△ 247,097		→自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0			9,600		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出	0			9,600		使用料(横浜市への支払分)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			0		

平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市笹野台地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日
(単位:千円)

	科目	介護予防支援	居宅介護支援	通所介護	予防通所介護・ 第1号通所介護
		収入	介護保険収入	2599	31992
その他	4779		3276	0	0
介護予防ケアマネジメント 費	4779		3276		
事業・負担金収入					
その他					
収入合計(A)	7378		35268	0	0
支出	人件費		28164		
	事務費	181	1478		
	事業費		487		
	管理費				
	その他	4606	0	0	0
	利用者負担軽減額				
	消費税				
	介護予防プラン委託料	4606			
	その他				
支出合計(B)	4787	30129	0	0	
収支 (A) - (B)		2591	5139	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等他の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

平成29年度 自主事業収支報告書

資料4-1

施設名 **横浜市笹野台地域ケアプラザ**

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
元気に介護予防 「コグニサイズ」	高齢者	15,280	地活		0	0	15,000	280	0
	9人		包括	15,280					
	0円		生活						
元気に介護予防 「GoGo健康！元気づくり 教室」	高齢者	32,096	地活		0	0	26,000	3,096	3,000
	48人		包括	32,096					
	0円		生活						
市民公開講座	地域の方	0	地活		0	0	0	0	0
	50人		包括	0					
	0円		生活						
笹野台歌声喫茶 「ひろば」	地域の方	126742	地活	25392	96400	4950	93324	33418	0
	964人		包括						
	100円		生活						
ほのぼの体操	高齢	209979	地活	86979	123000	0	209979	0	0
	410人		包括						
	300円		生活						
脳と体のトレーニング体操	高齢	133320	地活	38520	94800	0	133320	0	0
	948人		包括						
	100円		生活						
サロン「お茶べり会」	地域	21220	地活	21220	0	0	15666	5554	0
	411人		包括						
	100円(会計は地区社協)		生活						
フリールーム	地域	1231	地活	1231	0	0	0	1231	0
	128人		包括						
	0円		生活						
公園あそび	子供	0	地活	0	0	0	0	0	0
	207人		包括						
	0円(ひなたぼっこ共催)		生活						
キッズダンス	子供	44440	地活	15640	28800	0	44440	0	0
	96人		包括						
	300円		生活						
からだに効く五禽義	地域	30000	地活	20200	9800	0	30000	0	0
	49人		包括						
	200円		生活						
歴史にふれよう！ 散策さんぽ	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	4人		包括						
	0円		生活						
ティータイム コンサート	地域	35136	地活	27636	7500	0	0	360	34776
	319人		包括						
	12月のみ参加費100円		生活						
合同歌声喫茶・ 2017	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	463人		包括						
	500円(会計はオアシス)		生活						
ヒップホップダンス	子供	44000	地活	2900	41100	0	44000	0	0
	137人		包括						
	300円		生活						
雑巾縫ったらボランティア	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	116人		包括						
	0円		生活						

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

横浜市笹野台地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
元気に介護予防 「ハマトレ体操」	高齢者	21,060	地活	21,060	0	0	15,000	560	5,500
	88人		包括						
	0円		生活						
親子であそぼうリトミック	子供	10296	地活	1296	9000	0	9000	0	1296
	30人		包括						
	300円		生活						
手のひらカロリー ～油の選び方～	地域	21367	地活	11867	9500	0	10000	11367	0
	13人		包括						
	1回目500円・2回目1,000円		生活						
こども体育教室	子供	15000	地活	8700	6300	0	15000	0	0
	21人		包括						
	300円		生活						
こども合気道教室	子供	15000	地活	9900	5100	0	15000	0	0
	17人		包括						
	300円		生活						
ベビーマッサージ	乳幼児	13503	地活	1603	11900	0	9999	3504	0
	17人		包括						
	700円		生活						
夏休み企画 キッズday	子供	54743	地活	31103	20900	2740	10000	35691	9052
	209人		包括						
	100円		生活						
夏休みこども企画 囲碁&将棋キッズ	子供	1010	地活	1010	0	0	0	0	1010
	24人		包括						
	0円		生活						
着衣泳講習会	子供	3790	地活	0	0	0	0	2520	1270
	21人		包括						
	0円		生活						
七夕飾り	子供	1601	地活	1601	0	0	0	1601	0
	167		包括						
	0円		生活						
おためし企画 3B体操	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	15		包括						
	0		生活						
ささえ愛ふじみ	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	211		包括						
	200(会計は富士見ヶ丘自治会)		生活						
認知症普及啓発映画上映会 『折り梅』	地域	28500	地活		0	0	0	28500	0
	50		包括	28500					
	0		生活						
介護者の集い	地域	0	地活		0	0	0	0	0
	10		包括	0					
	0		生活						
境友自治会「わの会」認知症サポーター養成講座	地域	0	地活		0	0	0	0	0
	32		包括	0					
	0		生活						
エンディングノート活用講座	地域	8000	地活		0	0	8000	0	0
	54		包括	8000					
	0		生活						
親子でクリスマスミニコンサート	子供	8613	地活	6913	1700	0	4000	4613	0
	17人		包括						
	100円		生活						

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

横浜市笹野台地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
笹ケア文化祭 ～趣味探訪展～	地域	52070	地活	7570	0	44500	0	46919	5151
	495人		包括						
	0円		生活						
大掃除	地域	6252	地活	6252	0	0	0	6252	0
	53		包括						
	0円		生活						
星空ガイド	地域	9150	地活	6550	2600	0	6666	2484	0
	26人		包括						
	100円		生活						
ズンバ ゴールド	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	58人		包括						
	0円(保健活動推進員会共催)		生活						
自分で作ろう!! 簡単ランチメニュー	子供	0	地活	0	0	0	0	0	0
	25人		包括						
	0(ヘルスメイト共催)		生活						
親子の食育講座	子供	0	地活	0	0	0	0	0	0
	39人		包括						
	0(ヘルスメイト共催)		生活						
旭ふれあい区民まつり 行政・PRコーナー出展事業	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	282人		包括						
	0人		生活						
元気に介護予防 「理学療法士の先生が行う体力測定」	高齢者	16,280	地活		0	0	16,000	0	280
	26人		包括	16,280					
	0円		生活						
介護予防出前講座 「認知症予防と対応のコツ」	高齢者	10,280	地活		0	0	10,000	0	280
	25人		包括	10,280					
	0円		生活						
介護予防出前講座 「おいしく食べて健康寿命を延ばそう」	高齢者	8,280	地活		0	0	8,000	0	280
	23人		包括	8,280					
	0円		生活						
元気に介護予防 「GoGo健康第2弾! 元気づくり教室」	高齢者	47,771	地活		0	0	31,000	3,335	13,436
	107人		包括	47,771					
	0円		生活						
みんなの家金が谷 認知症サポーター養成講座	地域	0	地活		0	0	0	0	0
	11		包括	0					
	0		生活						
小規模多機能事業所アルメリア 喫茶シャンティ 認知症サポーター養成講座	地域	0	地活		0	0	0	0	0
	21		包括	0					
	0		生活						
司法書士による無料相談会	地域	0	地活		0	0	0	0	0
	4		包括	0					
	0		生活						
こどもの書初め	子供	3317	地活	917	2400	0	0	2514	803
	12人		包括						
	200円		生活						
登録団体交流会	地域	10175	地活	10175	0	0	0	0	10175
	46人		包括						
	0円		生活						
よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	高齢	0	地活	0	0	0	0	0	0
	19人		包括						
	0円		生活						

平成29年度 自主事業報告書

横浜市笹野台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
元気に介護予防 「コグニサイズ」	認知症予防について普及し、今後の包括の介護予防講座を周知する。介護予防の必要性、ロコモ予防・運動について説明する。 講師は体育協会職員とし、コグニサイズを行う。(運動前のストレッチ・基本姿勢・コグニサイズ実施に当たっての注意点などを解説する。)	平成29年4月13日 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
元気に介護予防 「GoGo健康!元 気づくり教室」	①介護予防の基礎知識を学び、介護予防サークル活動の足掛かりとする。 ②事業対象者等に声をかけ、セルフケア能力が向上でき、ロコトレで効果を実感する。 ロコモ予防、口腔機能向上、低栄養予防の基礎知識を学ぶことに合わせて、ロコトレを毎回実施する。	平成29年5月 ～ 平成29年7月 計3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
市民公開講座	地域の皆様に正しい医療知識への理解を深めていただき、健康管理に役立ていただくことで、介護予防につなげる。 横浜市旭中央病院の循環器内科(循環器救急医療)の医師を講師に招き、高血圧・脂質異常症・狭心症・心房細動と脳卒中について講義をしていただき、質問コーナーを設け、それぞれの疾患を理解する。	平成29年6月 ～ 平成30年1月 計3回

笹野台歌声喫茶 「ひろば」	青春時代を思い出していただく。歌う事により、口腔ケア、腹筋運動、肺機能の運動になり、心と身体のリフレッシュをする。アコーディオンに合わせて、童謡、歌謡曲等を20曲ほど歌う。途中休憩を挟み、水分補給、リクエストカードの記入。	平成29年4月～ 平成30年3月 計12回
------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほのぼの体操	身体を動かす機会の少ない高齢者の方や体力的に自信がない方に参加いただき、レクリエーションを取り入れ、楽しく身体をほぐしていただく。健康の維持と同年代の方々との交流を図る。9：45～ 血圧測定 10：00～11：00 体操 11：00～レクリエーション・口腔ケア体操	平成29年4月～ 平成30年3月 計24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
脳と体のトレーニング体操	脳のための体操を行うことにより、身体だけではなく、脳にも健康になってもらう。 同世代と交流を行うことにより、外へ出掛ける楽しさを感じてもらおう。モーツァルトの音楽を聴きながら、脳を活性化させる体操を行う。	平成29年4月～ 平成30年3月 計21回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サロン「お茶べり会」	自宅に閉じこもりがちな高齢者様に外に足を向けていただく。同年代の方々との交流を楽しんでいただく。趣味活動を通して自分の得意を引き出していただく。お茶・お菓子をいただきながら、皆でおしゃべりを楽しむ。毎回、30分ほどのイベントを盛り込む。 〈役割分担〉 広報・参加者名簿作成はケアプラザ 会計管理は地区社協 イベントで材料が必要な場合の材料手配は、ケアプラザが支援 講師謝礼、ボランティアお礼はケアプラザが支援 参加者より、参加費を徴収	平成29年4月～ 平成30年3月 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
フリールーム	気軽にケアプラザに来所し、さまざまな世代が交流する事で、日頃交流出来ない方々に繋がりを持っていただく。新しい地域のつながりを図る。子どもが放課後を過ごす場として、また地域の高齢者との触れ合いの場として活用いただく。午後の稼働率をあげる。毎月3回（月曜日：午後1時～5時）開催。広報誌、館内・外の掲示板で宣伝。 将棋・囲碁・談話の場として活用していただく。子どもには宿題等をする場としていただく。 利用者は初回に登録し、登録カードを受付で預け、名前と入退出の時間を受付簿に記入。 時間内は出入り自由。	平成29年4月～ 平成30年3月 計41回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
公園あそび	外遊びの大切さを伝える。同年代の子どもの交流、親の交流の場、地域の方のボランティア活動の場づくりとし（ボランティアの育成）、いずれは地域の活動につなげる。公園に集まり、親子、地域ボランティア、民生委員、スタッフと一緒に遊ぶ。	平成29年4月～ 平成30年3月 計9回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
キッズダンス	全身運動でストレスを発散させる。同世代で行動を共にし、交流を図る。ケアプラザが子供も気軽に来ることのできる場として、認知してもらう。 26年度自主事業からサークル化となった「ステップ・スターズ☆☆☆☆」のメンバー減少により、サークルからケアプラザへ後方支援依頼があったため、メンバー増員とサークル存続に向け手伝い。音楽に合わせて、ヒップホップダンスを行う。 イベントでダンスを披露する。	平成29年5月～ 平成30年3月 計8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
からだに効く五禽義	太極拳は動作を覚えるのが大変と思われる方に太極拳の源流である五禽義を勧める。 五禽義の虎、鹿、熊、猿、鳥の形態を真似して内臓強化を促進する動物気功体操と呼吸法を学ぶ。基本となる気功を取り入れ、呼吸法を学びながらゆったりと身体を動かし、身体機能を維持する。	平成29年4月～ 平成29年6月 計6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歴史にふれよう！ 散策さんぽ	介護予防事業。閉じこもり防止と地域福祉保健計画の課題である『顔の見える関係作り』の場の提供。 一人で歩くのに不安がある方が、交流をすることによって、ボランティアの活動の場とする。「新・あさひ散歩」の冊子を参考に地域の歴史を載せたしおりを作成し、地域の歴史にふれながら散歩を行う。	平成29年5月14日 計1回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ティータイム コンサート	コンサートに行きたいが遠出の出来ない方、障がいを持っていることで、外に出るきっかけの少ない方、未就園児や児童、学生に生演奏を体感出来る等の機会を作る。 会場整備、お茶とお菓子の受け渡し等で、ボランティアの活動の場にする。 多世代交流や、障がいの方との交流、未就園児を抱えた親の交流を図る。土・日・祝日に開催することで、当館の運営時間帯を知っていただき、貸館へ繋げる。数組の演奏団体（ボランティア）の生演奏をお茶を飲みながら聴く。 (ボランティア人数を含む)	平成29年4月～ 平成30年3月 計3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
合同歌声喫茶・ 2017	歌好きな方が集まって仲間作りや健康作り。 また外出の機会を作ることで引きこもり予防。 区内全ケアプラザの周知。区内ケアプラザとボランティア団体・歌声喫茶オアシスと実行委員会形式で運営。	平成29年5月31日 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ヒップホップダンス	全身運動でストレスを発散させる。 同世代（年少～年長）で行動を共にし交流を図る。 ケアプラザを子供も気軽に来ることのできる場として認知していただく。 親の情報交換の場としてもらう。音楽に合わせて、ヒップホップダンスを行う。 イベントでダンスを披露する。	平成29年5月～ 平成29年8月 計10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
雑巾縫ったらボランティア	ボランティアに協力する気持ちはあるが、体力や体調のことを考えるとなかなか出来ないという高齢者の方や、子育て中なのでケアプラザにボランティアの為に来るのは難しい方に雑巾5枚でボランティアバッジを進呈。企画を広報誌やチラシで案内してから受付期間にケアプラザに届けてもらう。	平成29年5月～ 平成29年7月 計4回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
元気に介護予防「ハマトレ体操」	介護予防の必要性を理解し、自治会単位を超えてつながることが出来る。運動を通じて介護予防の大切さ、仲間で活動する意味を学ぶ。指先から大きな筋肉へと負荷をかけながら動かし、全身運動を行う。最後に音楽に合わせてハマトレ体操を行う。	平成29年9月 ～ 平成29年11月 3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子であそぼうリトミック	同世代で行動を共にし、交流を図る。子どもとの上手なコミュニケーション方法を学ぶ。年齢の近い子供達の交流の場・保護者の情報交換の場としてもらう。幼いころより親子でのコミュニケーションを取りながら一緒に歌や音楽に合わせて、体を動かしスキンシップを図ることで、絆をより深める。同世代の子どもを持つ保護者の情報交換の場として活用していただく。	平成29年9月～ 平成29年11月 計3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
手のひらカロリー～油の選び方～	食育をテーマに難しいカロリー調整を手のひらを目安に簡単に大まかな計算方法を学ぶ。巷に色々な種類の油が溢れている昨今、用途によっては体質によつての油の選び方、油によつての正しい使い方について学ぶ。自宅でも気軽にカロリー計算を行う食育を学ぶ。様々な種類の油の特性を知り、体に良い用途や体質に合った油の選び方、各油の正しい使用方法を学ぶ。食育の大切さを学ぶ。	平成29年8月～ 平成30年2月 計2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こども体育教室	走り方、マット運動等の運動を通じて、体を動かす楽しさに触れてもらう。運動＝健康について学ぶことで、心身への大切さを考えてもらう。ケアプラザを子どもも気軽に来ることのできる場として認識してもらう。同世代との交流。運動をする楽しさに触れる。苦手なものを克服する力を身につける。走り方講座。体力作り。体幹トレーニング。運動と健康についての講義。瞬発力・基礎筋力を鍛える。	平成29年8月 計3回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こども合気道教室	<p>日本生まれの武道である合気道を通じ、姿勢、護身術、逮捕術、礼儀作法の大切さを知ってもらう。</p> <p>身を守る大切さを通じて、人を思いやる心を、武道を通じて礼儀作法の大切さを知り、それらを通じて、ボランティア精神を養う。合気道を体験し、心と身体の使い方を伝え、正しい姿勢を身につける。姿勢を基に護身術を身につける。</p> <p>学んできた姿勢や護身術を生活で活かせるよう、礼儀作法や挨拶を身につける。</p>	平成29年7月 計3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ベビーマッサージ	<p>親子のふれ合いと、情報交換、お友達作りの場、孤立親子を減らす。</p> <p>ベビーマッサージを通して、リラックスした雰囲気の中でゆっくりと親子で向き合う楽しい時間を過ごしていただく。アロマオイルでベビーマッサージを行う。話しかけたり、わらべ歌をうたいながらマッサージをしてスキンシップをとる。</p> <p>保護者向けにハンドマッサージの時間も取り入れ、育児中のお母様方にリフレッシュしていただく。</p>	平成29年8月～ 平成29年9月 計3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏休み企画 キッズ day	<p>子供開放 dayを作り、子供達に来館していただく。ケアプラザを身近に感じてもらい、今後のボランティア活動にも協力してもらえ環境作りをする。登録団体のボランティアの場とし、参加してもらおう。ジュニアボランティアの活動の場とする。車いす体験・ダンス発表・スタージャン鑑賞・工作(ポンポンマスケット・バルーンロケット)・縁日(かき氷・ヨーヨー釣り・空気砲等)の催しを行う。</p> <p>受付にて100円のカードを購入していただく。</p> <p>お祭りの雰囲気を出し、来場者に楽しんでいただく。子供達にボランティアについて簡単なところから学んでいただく。</p>	平成29年8月2日 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏休みこども企画 囲碁&将棋キッズ	<p>講師には囲碁メンバーの方を招き、ボランティアの活動の場として、囲碁と将棋を教えてもらう。</p> <p>核家族化でなかなか交流することのなくなってしまった異年齢交流の場として楽しんでいただく。</p> <p>初心者にはルールの説明から、わかる子は対戦を行う。囲碁・将棋のどちらも行うことで、どちらにも興味を持って楽しんでもらう。</p> <p>囲碁を理解するのが難しいお子さんには、五目並べで碁石を使った遊びから入り、将棋では回り将棋を行う。</p> <p>囲碁⇔将棋と飽きることなく別の遊びをする。対戦では対局をボランティアさんに指導していただき、ボランティアさんと参加のお子さん双方が楽しめる内容にする。</p>	平成29年7月～ 平成29年8月 計3回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
着衣泳講習会	夏休みに向けて、水辺で遊ぶ機会が多くなる季節に『着衣水泳』を学ぶことにより、着衣時の動かしにくさや、濡れた服の重さを感じとり、いざという時の心構えを学ぶ。不意に海や川に落ちたらどのような行動をとり、身を守るのか学ぶ。 消防団の方からフリップを使い説明後、おぼれた時の寸劇を見た後に実践する。 プログラム内容 ①プールサイドにて各親子点呼 ②入水方法 ③プール洗濯機 ④背浮	平成29年8月5日 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
七夕飾り	日本古来から伝わる七夕行事を再確認し、日本の伝統文化の良さを知ってもらい、笹野台地域ケアプラザの季節を感じる行事として、定着させる。 年齢を問わずケアプラザに足を運んでいただくきっかけづくりとする。色とりどりの短冊、ペンを用意して、来館者に願い事を書いてもらい、笹の葉に吊るして飾る。	平成29年6月～ 平成29年7月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おためし企画 3B体操	楽しく身体を動かし、肩こり・腰痛・転倒骨折などの予防につながる体操を地域の方に広め、健康増進に努めていただく。 自主事業からサークル化した3B体操だが、活動人数が少ないため、お試しで参加人数を募り、サークルの参加人数の増員を目指す。ボール・ベル・ベルターという3つの手具を使い、音楽に合わせて身体を動かしたり、ダンスをする。時には複数の手具を組み合わせ、遊び感覚で様々な運動を楽しむ。	平成29年7月 計2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ささえ愛ふじみ	ケアプラザまで出かけられない地域の方に見守り・介護予防・社会参加の場となるような取組を促す。前年度休止を余儀なくされた理由を踏まえ、ボランティア人数の確保等、自治会長の工夫を凝らした運営で行った。4月は桜餅づくり、5月はボランティアによるミニコンサート等月替わりで地域住民が楽しめるプログラムを取り入れた内容を企画しており、地域に定着している。	平成29年4月～ 平成30年3月 計12回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症普及啓発 映画上映会 『折り梅』	地域の幅広い住民層に向け、認知症の理解・啓発を図る認知症を題材とした映画『折り梅』の上映および、上映前に認知症予防・認知症に関するミニ講座をケアプラザ職員にて実施。認知症の実際が描かれており、認知症の理解を進める目的に適う映画内容であった。	平成29年9月9日 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者の集い	介護者が元気に介護を継続するための支援として、介護者が集まって「介護の苦労や悩みを分かち合う」「介護に必要な情報を得る」ための、定期的なコミュニケーションの場を提供する。奇数月第4水曜日午後に介護者・介護経験者を対象に茶話会・介護に役立つ情報提供・講座等を実施する。 介護経験の浅い介護者が長く経験をしている介護者のお話を聞いて、不安解消や今後の経過に備えたり、介護者同士だからこそ理解しあえる、日々の悩みを共有して息抜きの場となる。	平成29年9月～ 平成30年3月 計4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
境友自治会「わの会」認知症サポーター養成講座	地域で認知症の方を見守り、支えるために、地域住民が認知症の理解を深める機会を作る。旭区「ひまわりの会」協力のもと、境友自治会住民向けに、自治会館で認知症サポーター養成講座を実施。 参加者がとりかかりやすいように、講義とともに、ひまわりの会と包括職員にて認知症対応の寸劇も含めた内容で行った。	平成29年9月1日 計1回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
エンディングノート活用講座	<p>H28年度旭区にて作成した『旭区版エンディングノート』の普及・活用を啓発する。自身の最期をどのように迎えたいか、希望や大切にしたいことを、元気なうちに考える重要性に気づいていただき、これからの生活を安心して過ごす、家族とのコミュニケーションを図るきっかけとしていただく。『旭区版エンディングノート』の内容について、包括職員・区社協・司法書士など各分野の専門職が説明。</p> <p>1回目：自分のことを振り返り、エンディングノートを書いてみる。 ノート内容に合わせて、介護予防・健康な暮らしを支えるポイントを保健師より説明。</p> <p>2回目：サポートが必要になった時、成年後見制度についてサポートが必要になった際に利用できる介護保険制度や施設について主任ケアマネより説明。 成年後見制度の内容や対象について、区社協局長が講義。</p> <p>3回目：旅立つ準備～財産・死後事務・遺言・相続について延命治療や尊厳死など旅立つ準備について、南希望ヶ丘ケアプラザ主任ケアマネより説明。 財産管理、遺言作成の方法や注意点、相続順位・相続手続きの注意点について、司法書士より講義。</p>	平成29年10月～ 平成30年12月 計3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子でクリスマスミニコンサート	<p>生演奏を聞く機会がなかなかない未就園児に、ピアノ・ハンドベルや歌の生演奏を聞く場を設ける。 楽器の素晴らしさや、音楽の楽しさを伝えることで、感性を刺激する。 保護者の交流や情報交換の場として活用してもらおう。ハンドベル、鍵盤ハーモニカ、ピアノを使っでの演奏。 簡単なリトミックと絵本の読み聞かせ。 演奏に合わせて歌唱後、サンタクロースからプレゼントをもらう。</p>	平成29年12月23日 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
笹ヶア文化祭～趣味探訪展～	<p>登録団体の発表の場、当館で活動しているサークルの発表の場を提供する。地域の方々のサークル活動の認知度を上げ、地域の交流の活性化を図る。 ボランティア活動をお願いすることで、ボランティアの育成の場とする。 サークルの方々にはサークル活動の中にボランティア活動を組み込む意識を高める。 自主事業の発表会、サークル活動の出演、作品の展示発表会の場、サークル団体のボランティア活動の場</p>	平成29年11月18日 平成29年11月19日 計1回(2日間開催)

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大掃除	日頃当館をご利用している登録団体の皆様に大掃除していただくことで、館内を清潔に保つ手伝いをしていただく。他のサークルの方々と同じ作業を行うことで、交流を図る。 当館が福祉を重んじる施設であり、サークル活動もその一環であることへの理解を深めてもらう。館内と外回りの大掃除。	平成29年12月17日 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
星空ガイド	なかなか利用の少ない小・中学生を対象に地域の同年代との交流をはかる。 プラネタリウムで説明後、実際に講義を受け、天体望遠鏡で見て、天体を身近に感じ、興味をもってもらおう。 ※曇りや雨天の場合は公園での天体観望は中止とし、家庭用プラネタリウムを用いた星空の説明を行う。 各種の天体やその頃見える天文現象を紹介。 天文現象の原因などをこどもにもわかりやすく説明。 小型天体望遠鏡を用いて月や惑星などを観望。	平成29年10月28日 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ズンバ・ゴールド	地域の健康維持のため老若男女を問わず、フィットネス初心者、シニア、身体的ハンデのある方でも楽しめるようにマイルドにアレンジした、新しい形のズンバ（リズム健康体操）をラテン系音楽に合わせて楽しく身体を動かす。 体力向上や脂肪燃焼効果で子育て世代の主観的健康感が薄い、または運動習慣のない層や新しいことにチャレンジしたいシニアの方に参加して貰い、ストレッチ、リズムに合わせて体操、クールダウンの構成で行う。	平成29年12月～ 平成30年3月 計2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
自分で作ろう！！簡単ランチメニュー	子供の頃から好ましい食習慣と豊かな心を身につけ、料理ができる力、身体に良い食べ物を選ぶ目と食の大切さを学ぶ。 栄養バランスのとれた食事を考える。グループに分かれ調理実習・盛り付けをする。 自分で作った食事後に栄養士からのお話を聞き、その後に質疑応答。	平成29年11月11日 計1回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親と子の食育講座	<p>子供の頃から好ましい食生活と豊かな心を身につけられるように、保護者向けの食育講座。 身体によい食べ物を選ぶ目と食の大切さを学ぶ。 栄養バランスのとれた食事を学ぶ場、親子のふれ合いと情報交換の場、お友達作りの場として活用してもらう。</p> <p>①野菜たっぷりのメニュー説明 ②ランチタイム ③栄養士からの栄養講座、質疑応答。 ④人形劇（15分）</p>	平成29年10月23日 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
旭ふれあい区民まつり 行政・PRコーナー出展事業	<p>来館しているお客様に地域ケアプラザ及び地域福祉保健計画を知る機会を作る。</p> <p>①地福計画の推進 ・アンケート ・啓発物配布</p> <p>②CP機能周知 ・福祉保健活動の推進 ・コーヒーボランティア「ペリゴール」によるサイフォンコーヒーの配布 ・子育て支援プログラムの提供・射的</p>	平成29年9月13日 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
元気に介護予防「理学療法士の先生が行う体力測定」	<p>自分の体力を知り、介護予防の必要性を理解する。</p> <p>①体力測定 ②結果説明 ③自宅で出来る介護予防体操 ④質問コーナー</p>	平成29年11月6日 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防出前講座「認知症予防と対応のコツ」	<p>ご自分や家族がなる可能性がある認知症について、不安感や恐怖心を持つ方が多くなってきている。認知症に対し正しく理解し、適切に対応すれば明るく穏やかに在宅で暮らすことができることを理解する。</p> <p>①認知症とは ②予防の仕方 ③治療 ④接し方 ⑤受診の仕方</p>	平成29年11月17日 計1回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防出前講座 「おいしく食べて健康寿命を延ばそう」	介護予防とは運動と考えがちな高齢者に、食生活の大切さを理解してもらう。 ①低栄養とは ②上手な短波気質の取り方 ③補助食品の取り方 ④質問コーナー	平成29年11月22日 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
元気に介護予防 「GoGo健康第2弾！元気づくり教室」	①介護予防の基礎知識を学び、介護予防サークル活動の足掛かりとする。 ②事業対象者等に声をかけ、セルフケア能力が向上できるロコトレで効果を実感する。 ロコモ予防、口腔機能向上、低栄養予防の基礎知識を学ぶことに合わせて、ハマトレを毎回実施する。	平成29年12月 ～ 平成30年3月 計4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなの家金が谷 認知症サポーター養成講座	①グループホーム職員の認知症理解と地域支援の促進をはかる。介護専門職の知識と技術を、地域の見守り支援へつなげる。 ②認知症サポーター養成講座を担う人材発掘につなげる。グループホームみんなの家金が谷スタッフを主対象として、認知症サポーター養成講座を実施。	平成30年1月29日 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
小規模多機能事業所アルメリア 喫茶シャンティ 認知症サポーター養成講座	地域住民に向けて認知症理解と地域見守りの普及啓発を行う。小規模多機能事業所アルメリアで実施の地域サロン『喫茶シャンティ』にて認知症サポーター養成講座を実施。○×クイズを盛り込んだオリジナルシナリオを包括支援センターにて作成、喫茶シャンティ主催者、施設職員の協力で寸劇を取り入れ、講義後に『水戸市認知症すごろく』を2テーブルに分かれて実施。なつかしい「すごろく」の形で学んだ内容を含めた認知症の進行状況と支援の流れを確認できた。	平成30年2月11日 計1回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
司法書士による 無料相談会	<p>①遺言・相続・後見制度・契約・消費者被害など権利擁護に関連する内容を法律専門家へ相談できる機会の提供。</p> <p>②法律問題を抱える地域住民をはじめとした地域の方々が安心した生活を送ることができるよう、法律の専門職による個別相談会を行なう。</p> <p>エリア内に事務所を構える司法書士 守屋清治先生を司法書士会横浜東支部にて紹介いただき、無料相談を実施。相続・遺言・住まいに関して個別相談がなされた。</p>	平成29年3月3日 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こどもの書初め	<p>書初めを通して、季節の行事に触れる。</p> <p>ケアプラザが子供も気軽に来所出来る場であることを知ってもらう。講師を招いて、書初めを行う。</p>	平成30年1月5日 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
登録団体交流会	<p>ケアプラザ貸館ルールの確認と理解。</p> <p>登録団体の交流を図り、親睦を深めてもらう。</p> <p>①登録団体自己紹介。</p> <p>②貸館利用方法・ルールについて説明。</p> <p>③災害時対応（1.福祉避難場所について） （2.非常口の確認等）。</p> <p>④グループワーク（登録団体の交流を図り、親睦を深める）。</p> <p>⑤ボランティアについて</p> <p>⑥質疑応答</p>	平成30年3月11日 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
よこはまシニア ボランティアポイント登録研修会	<p>登録者ご本人の健康維持と介護予防、社会参加、地域貢献を通じた「生きがいづくり」を促進するとともに、これからの介護施設等の地域とのつながりの深まりや、施設利用者の生活をより豊かにすることを促進することを目的とする。</p>	平成30年3月14日 計1回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
<p>コーヒーバリスタ講座</p>	<p>エリアの商店街にあるコーヒー専門店の店主と今宿地域ケアプラザで活躍しているボランティア団体さんに講師を依頼。</p> <p>いつもの豆をもっと美味しく入れるコツと、ボランティアに興味があり、地域でマイスターデビュー出来る方に参加していただく。</p> <p>①コーヒーの豆知識と選び方 ②サイフォンコーヒーを味わう ③コーヒーに合う簡単なお菓子の紹介</p>	<p>平成30年1月 1月10日 1月17日 1月24日 計3回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
<p>第3月曜クラブ</p>	<p>高齢者の介護予防、閉じこもり予防、地域の仲間作りを目的に実施する。</p> <p>笹野台地区社会福祉協議会と共同開催することで、地域課題や情報を共有し、連携を図る。年間の取り組みを笹野台地区社会福祉協議会と協働し、介護予防となる内容、楽しみながら参加できる企画をする。</p> <p>役割分担 笹野台地区社会福祉協議会・・・会計管理広報 ケアプラザ・・・広報・参加者名簿・講師謝金 参加者・・・材料費が発生するときは参加者の自己負担 協働・・・会場準備・後片づけ</p>	<p>平成30年1月15日 計1回</p>